

北海道北見柏陽高等学校 1年1組

16歳

第16号・平成25年7月22日(月)



私が欠席者名を黒板に書く理由

7. 19 (金)

(空手) 宇野・高橋・(熱) 谷本

と、黒板右下に休んだ者の名前を書く。「朝読」の余韻を数秒とった後に、SHRを始め「今日の欠席者」という言葉から入るようにしている。

数年前、帰り際に「あれえ？今日Aは休んでたんだ。」という言葉聞いたことがあった。ちょっとショックだった。

人間、自分の存在を忘れられた時のダメージが一番大きい。クラス40名のことに鈍感な生徒になって欲しくない。

よって、「私が欠席者名を黒板に書く理由」は、

1年1組のみんなに伝えるため

■柏陽祭終了時の通信に「点から線へ、線から面に」と書いたのも同じ。

行灯、クラ対、学級旗、衣装、クラTと40名で協力しなければできないのが「柏陽祭」。だからそこにトラブルも生じるし、できあがった後の気持ちも達成感がある。大切なことは、

集団を意識して行動する

柏陽祭アンケートから一部抜粋

●長い時間を使って完成させた行灯で国道を歩くことがとても楽しかった。クラスで一つ一つ細かいところから作りあげていくことでクラスの団結力が上がりとても良かった。

●1年1組というこのクラスで最初で最後の行灯をつくりました。作業をしていく中で様々な気持ちのすれ違いがありましたが、最終的にはみんな団結をして良い行灯をつくることができました。

●今までは市民として見ていただけだけど、いざ行灯を作る立場になると、完成ま

でのとてもとても大変な道のりがあることがわかった。悩んだし、苦労したけど、最後には良いものが作れて達成感や協力することの大切さを学べてよかったです。

●クラ対は1年1組が1番練習してきたと思います。結果はどうあれ、みんなが1つになったしゆんかんをみることでよかったです。

●クラ対は、準備や流れなど、すべて生徒がやらなければいけなかったのが、色々大変でもめごとなどがありましたが、責任者、実行委員がすすんで動いてくれてとても助かったし、その方々のおかげでクラ対を成功することができたと私は思います。

■尾木ママこと尾木直樹氏が言っている。「誰かが問題行動を起こす。しかし、その周りには大多数の傍観者がいて、『傍観』によって実質的加害者側に転化しているというのが、現代のいじめの構造です。」

尾木直樹著『「脱いじめ」論』

追試者11名は夏休み中に面談！ 第4回 英単語コンクール 学年5位

順位	氏名	得点	学年順位
1	松田美香	85	2
2	成田莉奈	64	18
3	東海林亮太	62	24
3	佐藤亜美	62	24
5	平井晃太	59	37
5	横山勇一	59	37
7	小林礼弥	55	49
8	田村莞太郎	54	53
8	森中凜	54	53
10	小松右京	53	58

同じ時間を生きているのに、人間には知識や器の差がある。この差はどこから生じるか。それは、

努力を継続する能力

にある。柏陽生なら誰だって「努力」はできる。しかし、「継続する能力」に劣る者は次々に脱落していく。【裏へ】

今回は英単コン前に柏陽祭があり、それによって見事に頑張れない生徒が続出した。ここで差が生じる。

追試者は、夏休み中に面談。
肝に銘じよ！

16歳とは可能性のかたまり 自分の夢は前髪でつかめ！

科目選択の面談を通して、かなり自分の将来が見えてきたと思う。自分の夢は前髪でつかめというが、本当にやりたいものを見つけたら、決して努力を惜しまない。

高校生の「努力」は、「勉強」。

20歳過ぎてから気づいても、手遅れになる。

人生は短く、その時間は貴重

本日までに16歳になった人

会田篤志、岩淵哲也、加藤令慈、
工藤颯馬、小松右京、平井晃太、
大林文香、佐々木瑠美、佐野千優、
前田はるか、成田莉奈（以上12名）

■ A 担任として責任を感じるので、今回私と面談をしていない A グループの生徒全員と、英単コン追試者11名は、夏休み中に個人面談をおこなう（短時間 5分～10分）。

都合の悪い者はお互いに時間をチェンジして連絡する。

それでも都合が悪ければ、8月に入ってもするので連絡を体育祭2日目までにすること。

予定者以外の希望者がいたら連絡を。

	13:00	13:10	13:20	13:30	13:40	13:50
25	会田	阿倍	岩淵	青木	石川	板垣
29	大場	加藤	川島	宇野	裏	大林
30	工藤	小西	小松	門脇	小林	佐々木
31	笹本	細川	佐野	土赤	藤谷	成田

場所：会議室OR自習スペース（職員室前）

次は体育祭 ↓



今年の1年生 ↓



